



吉川のしずく知り隊 ～田植え 編～

5月20日に田植えをしました。大人19名、子ども10名の参加でした。米作りの座学でお世話になった、浅見明一さんと、宇野英美さんにご指導いただきました。

最初に5畝分を手植えしました。田んぼに張ったひもに合わせて、苗の間隔は20センチで、ひもを30センチずつ移動しながら、後ろへ後ろへと植えていきます。水が浅めの田んぼでしたので小さな子ども足を取られる事なく、大人も楽に植えられました。子どもたちは、少し植えたら生き物探しへ。ザリガニ、タニシ、ダンゴムシ、茶色や緑色のカエルなど、たくさん探して得意そうに見せてくれました。



蜻蛉のヤゴは見つけたのかしら？大人は40条を頑張って植えました。

1反分は田植え機で。人数が少なければ「田植え機の運転してみるかい？」の、はずでしたが、浅見さんの運転に同乗させてもらいました。乗ってみると、ほとんど揺れずに、泥はねも無く、田んぼを渡って風が吹いてくれば、快適です。素人の運転は曲がるとか・・・。

それでも運転したかった人は、何人もいたようです。田んぼから上がってきた田植え機の高さにビックリ。働く男と、働く車はカッコイイ！！

用水路で足を洗って、井戸からタンクに汲んできてくれた冷たい水で手を洗って、お弁当を食べました。お弁当は、創作居酒屋「穂思」に注文。なにしろ、田んぼが「穂思」の裏手にあるので、ジャストタイミングで配達してもらいました。おにぎりはもちろん『吉川のしずく』で作ってもらいました。

9:00～12:00の田植え体験。当日は五月晴れというには少々暑い位の日でしたが、無事作業を終えることができました。

田植え2週間以内に除草剤散布をします。水面に油の膜を作って、雑草が生えてこないようにするタイプのものです。田植えと同時に薬をまくのが一般的な方法で、田植え機の後ろに薬を入れる

タンクが付いているのですが、当日は手植えもするため、日にちをずらして、除草剤散布をしてくれる事になりました。6月中旬まで、連日田植えが続く中、私たちの為に時間をさいてくださる浅見さんに、感謝いたします。

持ち帰った苗が、バケツの中で稲になる頃。9月のお彼岸から10月上旬に。こればかりは、お天道様次第ですが、稲刈りです。

収穫祭もお楽しみに。

